

感染状況・医療提供体制の分析(8月3日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (7月20日時点)	現在の数値 (7月27日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	13135人 (699.8人)	17301人 (921.8人)	→	<p>感染状況コメント</p> <p>レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大の警戒が必要</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり922人</u>と増加し、60歳以上が占める割合も増加している。医療機関・高齢者施設でのクラスターも多数発生。 感染拡大は止まらず、県内もBA.5対策強化宣言が発出。帰省など移動が多くなる時期となり、今後も陽性者増加が見込まれる。屋内でのマスク着用、室内換気、ワクチン接種など個人で行える感染対策を再強化し、高齢者等重症化リスクの高い方を守る行動を。</p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	1637人 (12%)	2419人 (14%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	7373人	9454人	→	
		県南西部	4346人	5677人	→	
		高梁・新見	158人	254人	→	
		真庭	176人	309人	→	
	市中潜在・感染	③新規陽性者における 接触歴不明者	数	2806人 (調査中を除く)	3208人 (調査中を除く)	
割合 (③/①)			51.4% (調査中を除く)	54.1% (調査中を除く)	→	
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	212人 (38%)	298人 (54%)	→	<p>医療提供体制コメント</p> <p>レベル5. 体制が極度に逼迫していると思われる</p> <p>確保病床における入院割合は50%を超えた。発熱外来や救急医療は逼迫し、医療機関でのクラスター、また医療従事者の感染や濃厚接触による自宅待機も増加し、手術制限など通常医療の提供が困難に。高齢者の感染者増加により、今後逼迫状態が悪化すると予想。</p>	
	⑤宿泊療養者数	133人	145人	→		
	⑥自宅療養者数	10308人	15273人	→		
	⑦重症者数	2人	7人	→		